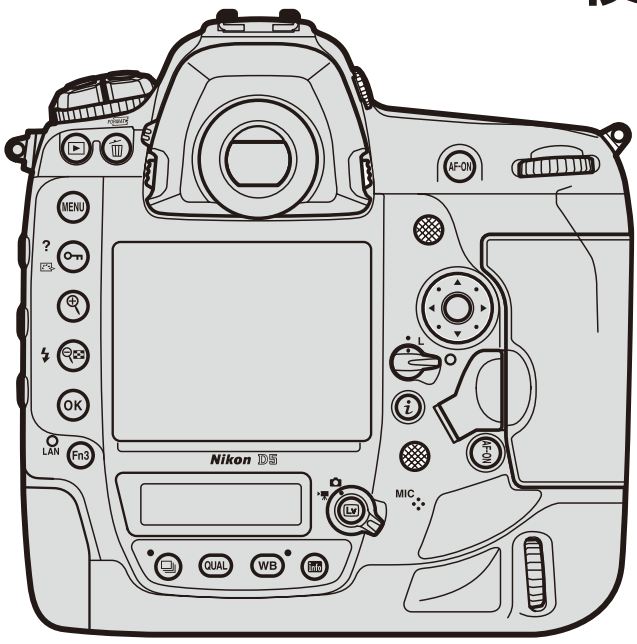
Nikon

D5 Professional

テクニカルガイド

– 便利な機能 –

Revision 2.0



Jp

目次

操作性向上編 5

ボタンによく使う機能を割り当てたい CHECK IT OUT 6

よく使うメニュー画面をワンタッチで表示させたい 10

撮影場面に応じたフォルダーをあらかじめ作成しておきたい ... 12

- 野球のイニングごとにフォルダーを分けて撮影する 12

撮影編 15

露出などの設定をワンタッチで切り換えたい 16

- 登録できる機能について 16
- 機能を登録する手順 17
- おすすめのシチュエーションについて 19

ホワイトバランスについてもっと知りたい 24

- ホワイトバランスの設定について 24
- 電球色照明下でのオートホワイトバランスのオプションについて CHECK IT OUT 26
- プリセットマニュアルデータの取得について 27

シャッタースピードと絞り値を維持して適正露出で撮影したい 28

白とびや黒つぶれを抑えて撮影したい 29

多重露出で［合成モード］の効果が知りたい 30

連写時の露出を安定して撮影したい 31

フリッカー現象の影響を低減して撮影したい CHECK IT OUT ... 32

撮影音を抑えて撮影したい 35

- 静音撮影と無音撮影の違い 35
- 静音撮影 36
- 無音撮影 CHECK IT OUT 37
- 動画から静止画を作成する 37

レンズの VR の SPORT モードについて詳しく知りたい 40

- SPORT モードの特長 41
- SPORT モードと NOMAL モードの使い分け 42

再生編 43

必要な画像を素早く探したい 44

- 画像を右手で素早く表示させるには 45
- 画像を素早く探すには CHECK IT OUT 46
- ピントを素早く確認するには 48
- 必要な画像に印をつけるには 50

ネットワーク編 53

ネットワーク接続を素早く行いたい 54

送信できている画像なのかをパソコン上で確認したい 55

画像に IPTC 情報、画像コメント、著作権情報を添付したい 56

- HTTP サーバーモードの「文字情報編集」について 56
- IPTC プリセットについて 57

アクセサリー編 59

複数のカメラのシャッターをリモートできりたい（連動レリーズ機能）.....60

- 連動レリーズモード設定について.....60
- 連動レリーズで撮影した画像の送信について.....63

付録 65

D5 と D4S のボタンや表示などの違いについて 66

- 背面左側.....66
- 背面下部.....67
- 背面右側.....67
- 正面.....68
- 上面左側.....68
- 上面右側.....69
- 表示パネルの ISO 感度と撮影コマ数表示.....70

操作性向上編

ボタンによく使う機能を割り当てたい

CHECK IT OUT

このカメラに装備されている **Fn**（ファンクション）などのボタンは、カスタムメニュー f1［**カスタムボタンの機能**］で自分の好みの機能を割り当てることが可能です。メニューにアクセスすることなく、ボタン操作だけで機能を切り替えられるため、操作性が向上します。

ボタンを押したときの機能

- 機能を割り当てられるボタンは次の通りです。

Pv プレビューボタン
Fn1 Fn1 ボタン
Fn2 Fn2 ボタン
Fn 縦位置 Fn ボタン
Fn3 Fn3 ボタン
AF-ON AF-ON ボタン

⊗ サブセレクター中央
AF-ON 縦位置 AF-ON ボタン

L-Fn レンズのフォーカス作動ボタン

（フォーカス作動設定スイッチがあるレンズを装着し、スイッチが **AF-L** に設定されている場合に、レンズのフォーカス作動ボタンを押したときの機能を設定できます。）

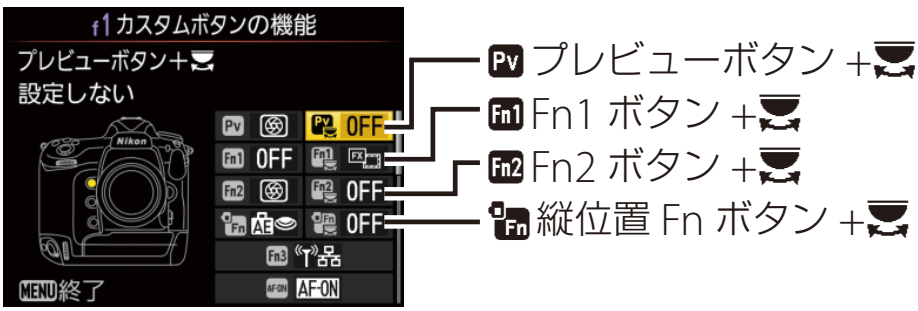
• 各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

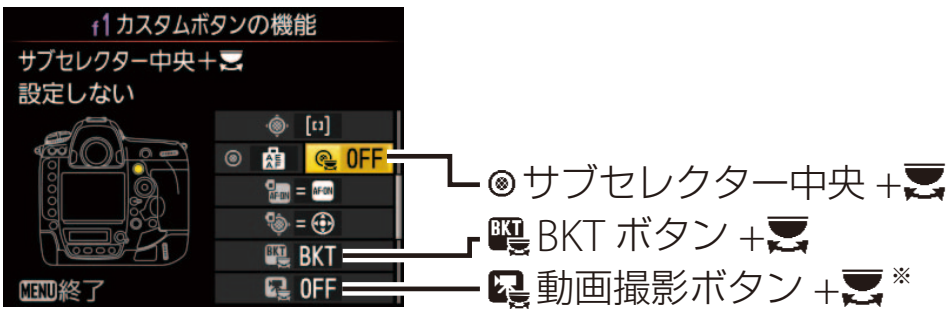
	Pv	Fn1	Fn2	Fn	Fn3	AF-ON	⊗	AF-ON	L-Fn
PRE プリセット フォーカスポイント	●	●	●	●	—	—	●	—	●
AF エリアモード	●	●	●	—	—	●	●	●	●
AF エリアモード +AF-ON	●	●	●	—	—	●	●	●	●
プレビュー	●	●	●	●	—	—	●	—	—
FV-L	●	●	●	●	—	—	●	—	—
AE-L/AF-L	●	●	●	—	—	●	●	●	●
AE-L	●	●	●	—	—	●	●	●	●
AE-L（レリーズでリセット）	●	●	●	●	—	●	●	●	—
AE-L（ホールド）	●	●	●	●	—	●	●	●	—
AF-L	●	●	●	—	—	●	●	●	●
AF-ON	●	●	●	—	—	●	●	●	●
発光禁止 / 許可切換	●	●	●	—	—	—	●	—	●
BKT BKT 自動連写	●	●	●	—	—	—	●	—	—
+RAW プラス RAW 記録	●	●	●	●	—	—	●	—	—
マルチパターン測光簡易設定	●	●	●	●	—	—	●	—	—
中央部重点測光簡易設定	●	●	●	●	—	—	●	—	—
スポット測光簡易設定	●	●	●	●	—	—	●	—	—
* ハイライト重点測光簡易設定	●	●	●	●	—	—	●	—	—
ファインダー内格子線表示	●	●	●	●	—	—	●	—	—
ファインダー内水準器	●	●	●	●	—	—	●	—	—
14 高速連続撮影 14 コマ（MUP）	●	●	●	—	—	—	●	—	●
連動レリーズ切り換え	●	●	●	—	—	—	●	—	●
マイメニュー	●	●	●	●	—	—	●	—	—
マイメニューの トップ項目先へジャンプ	●	●	●	●	—	—	●	—	—
ネットワーク接続	●	●	●	—	●	—	—	—	—
再生	●	●	●	●	—	—	●	—	—
撮影機能の呼び出し	●	●	●	—	—	●	●	●	●

	Pv	Fn1	Fn2	Fn	Fn3	AF-ON	⊗	AF-ON	L-Fn
音声メモ	—	—	—	—	●	—	—	—	—
★ レーティング	—	—	—	—	●	—	—	—	—
RESET フォーカスポイント中央リセット	—	—	—	—	—	—	●	—	—
= AF-ON AF-ON ボタンと同じ	—	—	—	—	—	—	—	●	—
設定しない	●	●	●	●	●	●	●	●	—

ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能

- 機能を割り当てられるボタンは次の通りです。割り当てを設定したいボタンの項目を選んで、マルチセレクターの**中央**を押してください。





※ ライブビューセレクターが 📷 の場合に、動画撮影ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能を設定できます。

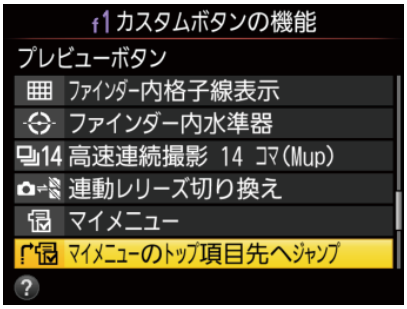
• 各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

	Pv	Fn1	Fn2	Fn		BKT	
撮像範囲選択	●	●	●	●	●	—	●
シャッタースピードと絞り値のロック	●	●	●	●	●	—	●
シャッター・絞り値 1 段選択	●	●	●	●	—	—	—
Non-CPU 手動設定済みレンズの選択	●	●	●	●	●	—	—
アクティブ D- ライティング設定	●	●	●	●	—	—	—
DLY 露出ディレーモード	●	●	●	●	—	—	—
SHOOT 静止画撮影メニュー切り換え	●	●	●	●	●	—	●
ISO ISO 感度	—	—	—	●	—	—	—
MODE 露出モード	—	—	—	●	—	—	●
露出補正	—	—	—	●	—	—	—
測光モード	—	—	—	●	—	—	—
BKT オートブラケティング	—	—	—	—	—	●	—
多重露出	—	—	—	—	—	●	—
HDR HDR（ハイダイナミックレンジ）	—	—	—	—	—	●	—
設定しない	●	●	●	●	●	●	●

押し時の動作とコマンドダイヤル併用時の動作が併用できない場合

［**プレビューボタン**］と［**プレビューボタン +**］のように、同じボタンに押し時の動作とコマンドダイヤル併用時の動作を設定できるボタンでは、両方の機能を同時に設定できない場合があります。その場合は後に設定された機能が有効になり、先に設定していた内容が［**設定しない**］に変更されます。

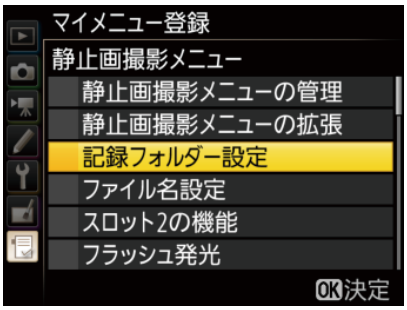
よく使うメニュー画面をワンタッチで表示させたい



カスタムメニュー f1［**カスタムボタンの機能**］で［**Pv プレビューボタン**］に［**マイメニューのトップ項目先へジャンプ**］を割り当てておくと、**Pv** ボタンを押してマイメニューの最上位に登録してあるメニュー画面を表示させることができます。カスタムボタンに直接割り当てられない機能でも、ワンタッチでメニュー項目を表示させることが可能です。

- ここでは例として、マイメニューのトップ項目に［**記録フォルダー設定**］を登録します。

1 マイメニュー［**マイメニュー登録**］の［**静止画撮影メニュー**］で［**記録フォルダー設定**］を選んで Ⓚ ボタンを押す



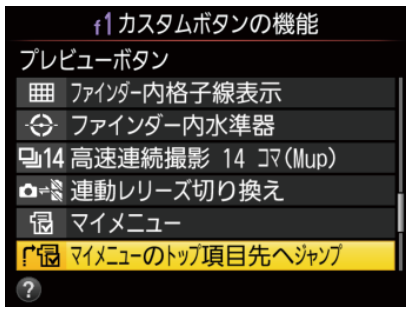
2 ［**登録位置設定**］で一番上の位置を選ぶ

- メニューの並び順は［**登録項目の順序変更**］で後から変更することも可能です。

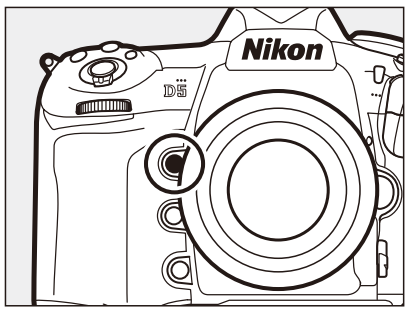
3 カスタムメニュー f1［カスタムボタンの機能］で［Pv プレビューボタン］を選ぶ

- **Fn1** ボタン、**Fn2** ボタン、縦位置 **Fn** ボタン、サブセレクター中央にもこの機能を割り当てられます。

4 ［マイメニューのトップ項目先へジャンプ］を割り当てる



- 撮影時、再生時、メニュー表示時に **Pv** ボタンを押すと［**記録フォルダー設定**］の設定画面が表示されます。



撮影場面に応じたフォルダーをあらかじめ作成しておきたい

撮影画像はメモリーカードの記録フォルダー内に保存されます。このカメラでは、フォルダー番号とフォルダーグループ名を編集できるため、サッカーの前半、後半、野球のイニングなど、場面ごとに名前を変えたフォルダーをあらかじめ作成しておくと、撮影後の整理がしやすくなります。

● 野球のイニングごとにフォルダーを分けて撮影する

場面ごとのフォルダーを作成するには、静止画撮影メニュー［**記録フォルダー設定**］の［**フォルダーグループ名変更**］と［**フォルダー番号指定**］を使います。

1 回の表と裏のフォルダーを作る

1 ［フォルダーグループ名変更］を選び、表を表す 5 文字の任意の文字（_TOP_ など）を入力して Ⓚ ボタンを押す

2 ［フォルダー番号指定］で 100 と設定する

- Ⓚ ボタンを押すと、「100_TOP_」フォルダーが作成されます。

3 ［フォルダーグループ名変更］を選び、裏を表す 5 文字の任意の文字（_BTM_ など）を入力して ㊋ ボタンを押す

4 ［フォルダー番号指定］で 101 と設定する

- ㊋ ボタンを押すと、「101_BTM_」フォルダーが作成されます。
- フォルダーグループ名が異なっていても、同じ値のフォルダー番号を設定することはできません。

2 回の表と裏のフォルダーを作る

1 ［既存フォルダーから選択］で _TOP_ を選択し、［フォルダー番号指定］で 200 と設定する

- ㊋ ボタンを押すと、「200_TOP_」フォルダーが作成されます。

2 ［既存フォルダーから選択］で _BTM_ を選択し、［フォルダー番号指定］で 201 と設定する

- ㊋ ボタンを押すと、「201_BTM_」フォルダーが作成されます。
- この操作を繰り返して 9 回までの表裏のフォルダーを作成します。

撮影時は、［**既存フォルダーから選択**］で場面に相当するフォルダーを選択して撮影を行ってください。

撮影編

露出などの設定を
ワンタッチで切り換えたい

カスタムメニュー f1［**カスタムボタンの機能**］（P.6）で任意のボタンに［**撮影機能の呼び出し**］を割り当てておくと、ボタンを押している間、露出モードや測光モードなどの設定が、あらかじめ登録した内容に変更されます。高速シャッターと低速シャッターを瞬時に切り替えたいときなどに便利です。

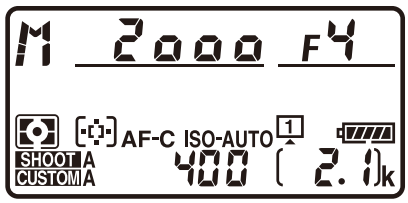
● 登録できる機能について

次の機能を登録できます。

- 露出モード
- シャッタースピード（露出モード **S**、**M**）
- 絞り値（露出モード **A**、**M**）
- 測光モード
- 露出補正
- ISO 感度
  - ISO 感度は感度自動制御をするかどうかも登録できます。
  - 感度自動制御をする場合、静止画撮影メニュー［**ISO 感度設定**］の［**制御上限感度**］、［**ϟ 使用時の制御上限感度**］、［**低速限界設定**］の設定も登録されます。

機能を登録する手順

1 カメラの設定を登録したい内容に変更しておく

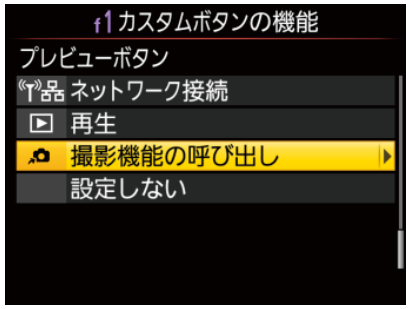


- 露出モードや ISO 感度など、登録したい内容をあらかじめ設定しておきます。

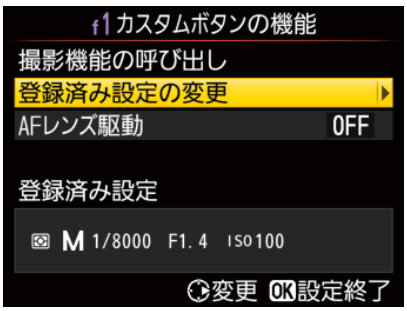
2 カスタムメニュー f1［**カスタムボタンの機能**］で任意のボタンを選んで Ⓚ ボタンを押す

- **Pv** ボタン、**Fn1** ボタン、**Fn2** ボタン、**AF-ON** ボタン、サブセレクター中央、縦位置 **AF-ON** ボタン、レンズのフォーカス作動ボタンに割り当てられます。
- 機能は複数のボタンに割り当てることができますが、登録できる設定は 1 通りのみです。

3 ［**撮影機能の呼び出し**］を選んでマルチセレクターの ▶ を押す

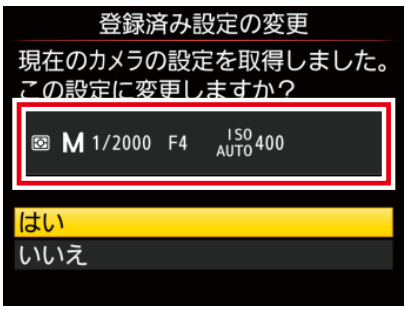


4 ［**登録済み設定の変更**］を選んで ⊛ を押す



5 設定内容を確認する

- 手順 4 で ⊛ を押した時点のカメラの設定が登録内容として表示されています。［**はい**］を選んで OK ボタンを押すと設定が登録されます。



設定登録時のご注意

手順 5 の画面が表示されているときにカメラの設定を変更しても、登録内容には反映されません。設定内容を変更したい場合は、［**いいえ**］を選んで OK ボタンを押し、手順 4 まで戻ってやり直してください。

［AF レンズ駆動］を［する］にした場合

［**撮影機能の呼び出し**］を割り当てたボタンを押して登録した設定を呼び出したときに、同時にピント合わせも行います。

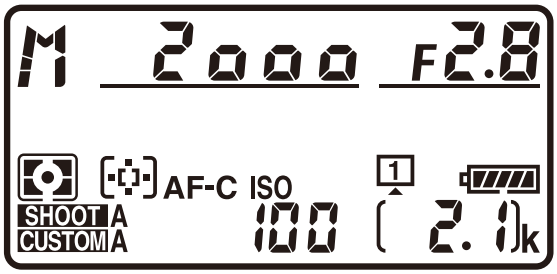
● おすすめのシチュエーションについて

この機能は次のようなシチュエーションで使用すると便利です。

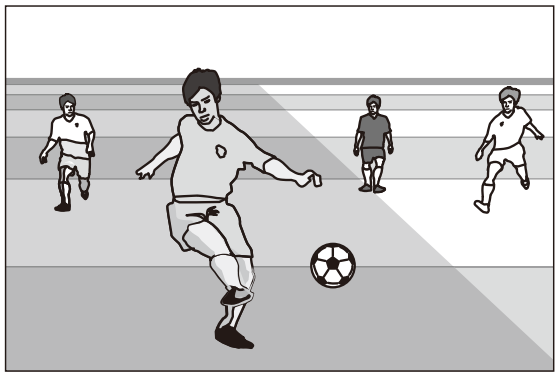
明るい場所と暗い場所が混在する場合

デーゲームのサッカースタジアムや野球場など、日なたと日陰が混在するような場所で撮影する場合、日陰用の設定を登録しておけば、被写体が日陰に入ったときもワンボタンで設定を切り換えられます。

通常撮影時の設定例：



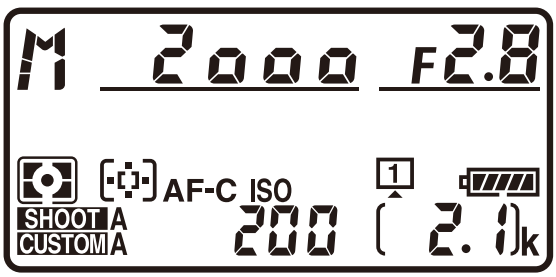
日陰撮影用の設定登録例：

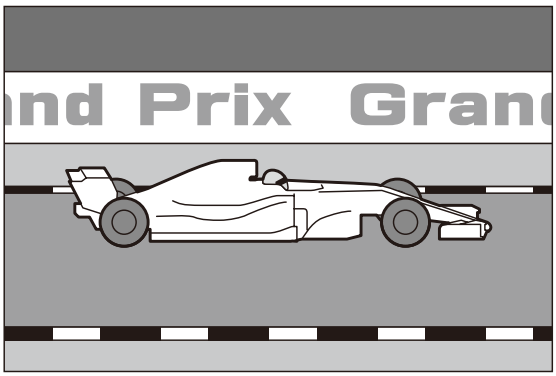


シャッタースピードを素早く切り替えたい場合

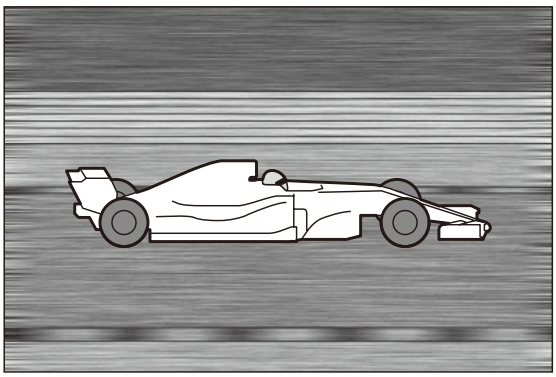
モータースポーツやスピードスケートなどの競技を撮影する場合、低速のシャッタースピードを登録しておけば、ワンボタンで流し撮り撮影の設定に切り換えられます。

通常撮影時の設定例：



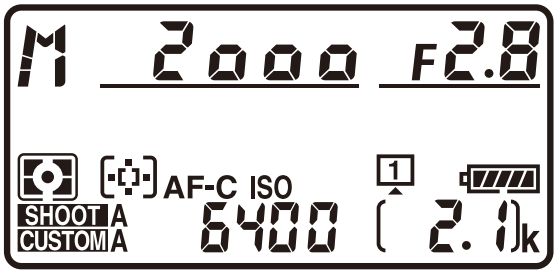


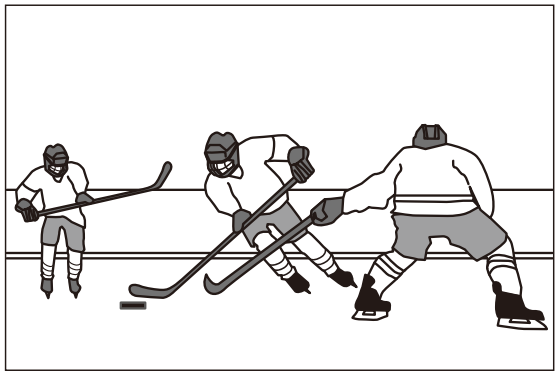
流し撮り用の設定登録例：



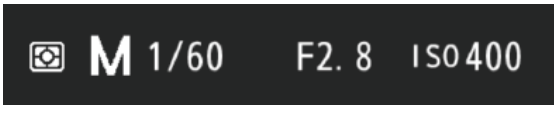
頻繁に電光掲示板を撮影する場合、電光掲示板撮影用の低速シャッタースピードを登録しておくと便利です。

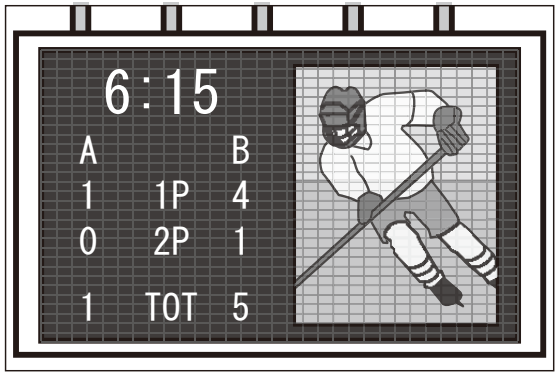
通常撮影時の設定例：





電光掲示板用の設定登録例：

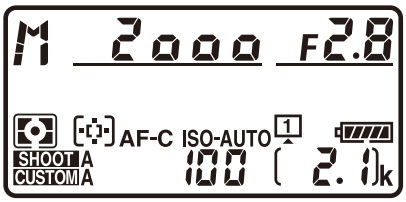




一時的にシルエット画像を撮影したい場合

意図的にシルエット撮影したい場合、測光モードをマルチパターン測光からハイライト重点測光に変更する設定を登録しておくと便利です。

通常撮影時の設定例：



シルエット撮影時の設定例：

露出モードを素早く切り替えたい場合

通常撮影する場合は露出モード **M** で細かく設定を行い、ボタンを押している間だけ露出モードを **P**、**S**、**A** に切り替えたり、ISO 感度を感度自動制御（P.28）に切り替えて露出をカメラまかせで撮影するということもできます。屋内撮影時に照明が変わったときや、屋外撮影時に天候によって露出が変わったときなどに便利です。

レンズを頻繁に交換する場合

使用するレンズによって撮影時の設定が異なる場合、サブで使用するレンズ用の設定を登録しておくと便利です。

絞りの範囲が異なるレンズに交換して登録し直す場合

［**撮影機能の呼び出し**］の設定を登録し直す場合、絞り値は設定を変更しないと以前の設定のまま登録されます。このためレンズを交換して登録し直す場合、交換後のレンズでは設定できない絞り値が登録されることがありますが、故障ではありません。たとえば絞り値を F1.4 で登録し、その後開放絞り値が F2.8 のレンズを装着して絞り値を変更せずに登録を上書きすると、絞り値が F1.4 で登録されます。

［撮影機能の呼び出し］について

- 呼び出したシャッタースピードや絞り値などの設定は変更できません。露出モードが **P** の場合、プログラムシフトは行えます。
- セルフタイマー作動中、ライブビュー撮影時、動画撮影時、オートブラケティング撮影時、多重露出撮影時、カスタムメニュー f1［**カスタムボタンの機能**］で［**プレビュー**］を割り当てたボタンを押下時は、ボタンを押しても設定の呼び出しは行われません。
- 次の場合、設定の登録および呼び出しはできません。
  - 非 CPU レンズまたは PC マイクロ 85mm F2.8D を装着した場合
  - 絞りリングのある CPU レンズを装着し、カスタムメニュー f4［**コマンドダイヤルの設定**］にある［**絞り値の設定方法**］を［**絞りリング**］に設定している場合
  - 絞りリングのある CPU レンズを、絞りリングを最小絞りにせずに装着した場合
- セットアップメニュー［**リモコン（WR）の Fn ボタン**］で別売のワイヤレスリモートコントローラーに割り当てることもできます。

ホワイトバランスについて もっと知りたい

ホワイトバランスを初期設定の AUTO（オート）に設定しておくとほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色みにならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

● ホワイトバランスの設定について

このカメラで設定できるホワイトバランスの項目は次の通りです。

ホワイトバランス	設定される色温度※	内容
AUTO オート	約 3500 ～ 8000K	カメラが自動的にホワイトバランスを調節し、ほとんどの光源に対応できます。また、別売のスピードライト使用時は、フラッシュ発光時の条件に応じて適したホワイトバランスに調整されます。種類の違いは 26 ページを参照してください。
AUTO0 白を優先する		
AUTO1 標準		
AUTO2 電球色を残す		
電球	約 3000K	白熱電球下での撮影に適しています。
蛍光灯	—	蛍光灯など、次の 7 種類の光源を使った撮影に適しています。
ナトリウム灯混合光	約 2700K	野球場、体育館などのナトリウム灯の混合光を使った撮影に適しています。
電球色蛍光灯	約 3000K	電球色蛍光灯下での撮影に適しています。
温白色蛍光灯	約 3700K	温白色蛍光灯下での撮影に適しています。

ホワイトバランス		設定される色温度※	内容
	白色蛍光灯	約 4200K	白色蛍光灯下での撮影に適しています。
	昼白色蛍光灯	約 5000K	昼白色蛍光灯下での撮影に適しています。
	昼光色蛍光灯	約 6500K	昼光色蛍光灯下での撮影に適しています。
	高色温度の水銀灯	約 7200K	高色温度の水銀灯などを使った撮影に適しています。
☀	**晴天**	約 5200K	晴天の屋外での撮影に適しています。
ϟ	**フラッシュ**	約 5400K	別売のスピードライトを使って撮影する場合に適しています。
☁	**曇天**	約 6000K	曇り空の屋外での撮影に適しています。
⌂	**晴天日陰**	約 8000K	晴天の日陰での撮影に適しています。
K	**色温度設定**	約 2500 ～ 10000K	色温度を直接指定できます。
PRE	**プリセットマニュアル**	—	撮影者が被写体や光源を基準にホワイトバランスを合わせたり、メモリーカード内の画像と同じホワイトバランスで撮影したりできます。設定方法は27 ページを参照してください。

※ 微調整を行っていない場合の値です。各ホワイトバランスは微調整を行って、色みを調整できます。

● 電球色照明下でのオートホワイトバランスのオプションについて CHECK IT OUT

このカメラのホワイトバランス［**AUTO**］には、［**AUTO0 白を優先する**］、［**AUTO1 標準**］、［**AUTO2 電球色を残す**］の3つの項目が用意されています。電球を光源とする環境で撮影する場合、電球色を残さず補正する場合は［**AUTO0 白を優先する**］、電球色を残して暖かみのある画像に仕上げたいときは［**AUTO2 電球色を残す**］をおすすめします。

AUTO0 白を優先する
（D4S での［**AUTO1**］に相当）

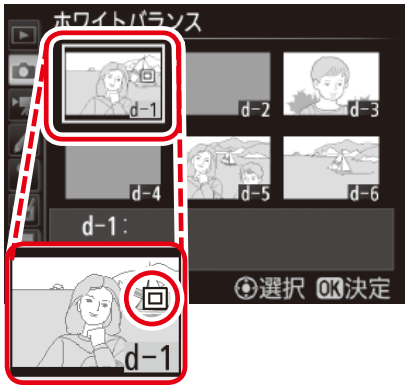
AUTO1 標準
（D4S では相当するオプションなし）

AUTO2 電球色を残す
（D4S での［**AUTO2**］に相当）

● プリセットマニュアルデータの取得について

ライブビュー時にプリセットマニュアルデータを取得すると、画像モニターに表示されている被写体の白、またはグレーの部分でプリセットマニュアルデータを取得できます。

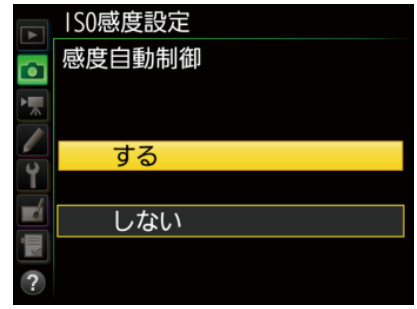
- ホワイトバランスを［**プリセットマニュアル**］に設定して、ライブビュー表示中に **WB** ボタンを押し続けるとプリセットマニュアル取得モードになります。画面の **PRE** が点滅中に、画像モニターにタッチすると、タッチした位置に □ が移動してプリセットマニュアルデータを取得できます。🔍 ボタンを押すと、□ で選択された部分が拡大します。
- **WB** ボタンを押すとプリセットマニュアル取得モードを終了します。
- 静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー［**ホワイトバランス**］の［**プリセットマニュアル**］を選ぶと、プリセットマニュアルデータを確認できます（d1–d6）。ライブビューで取得したプリセットマニュアルデータにはタッチした部分の □ が表示されています。



ホワイトバランスがプリセットマニュアルモードのとき、**WB** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと d1–d6 を切り替えることができます。

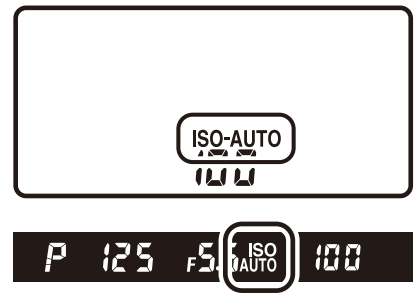
シャッタースピードと絞り値を維持して適正露出で撮影したい

静止画撮影メニュー［**ISO 感度設定**］の［**感度自動制御**］を［**する**］に設定しておくと、日なたと日影が混在する環境で撮影する場合など、周囲や被写体の明るさが変わるときでも、カメラが自動的に ISO 感度を変更します。このため、露出モードを **M** でシャッタースピードと絞り値を設定した場合でも、その値を維持したまま適正露出で撮影できます。



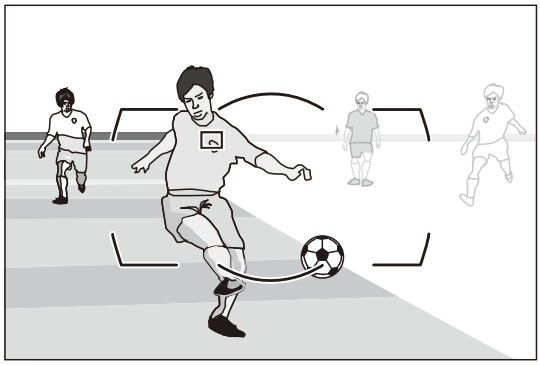
- ［**制御上限感度**］を設定すると、感度自動制御するときに ISO 感度が高くなりすぎないように、上限感度（200 ～ Hi 5）を設定できます。ノイズを抑えたい場合などに設定します。ISO 感度の下限は［**ISO 感度**］で設定した ISO 感度になります。

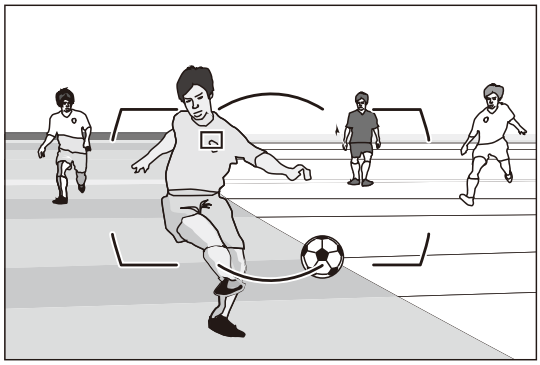
- ［**制御上限感度**］で設定した ISO 感度よりも［**ISO 感度**］で設定した ISO 感度が高い場合、［**ISO 感度**］で設定した値を制御上限感度として撮影します。
- ［**感度自動制御**］の［**する**］または［**しない**］の切り換えは、**ISO** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回しても行えます。［**感度自動制御**］の設定は上面表示パネルとファインダー内表示で確認できます。



白とびや黒つぶれを抑えて撮影したい

暗い室内から外の風景を撮影したり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するときは、［**アクティブ D- ライティング**］を使うことで、ハイライト部の白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減し、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。





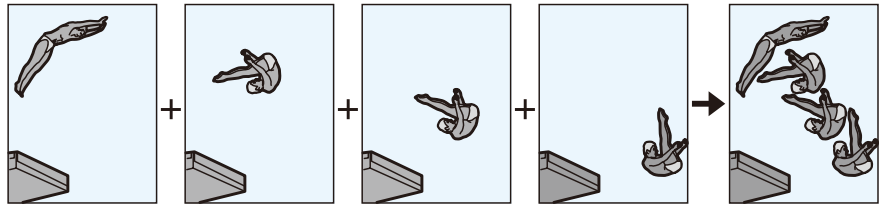
- ［**オート**］に設定すると撮影シーンに応じて自動的に効果の度合いが設定されます。
- 測光モードはマルチパターン測光に設定して撮影することをおすすめします。
- 動画撮影時は［**アクティブ D- ライティング**］は機能しません。
- 露出モードが **M** のときは［**A オート**］に設定しても［**N 標準**］相当の度合いに固定されます。
- 高感度撮影時にはノイズが目立ちやすくなる場合があります。

ボタン操作でアクティブ D- ライティングを切り替える

カスタムメニュー f1［**カスタムボタンの機能**］で任意のボタンに［**アクティブ D- ライティング設定**］を割り当てておくと、撮影時に設定したボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すだけでアクティブ D- ライティングの設定を切り換えられます。

多重露出で［合成モード］の効果が知りたい

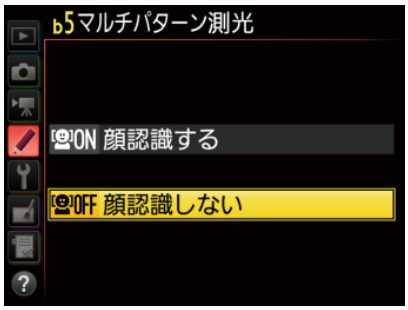
このカメラの多重露出撮影では、［**合成モード**］を選択できます。合成モードには次の種類があります。多重露出撮影の目的や環境に合わせて設定してください。

加算	全ての露光結果をそのまま重ね合わせます。
加算平均	重ね合わせた画像の露出が適切になるように、露光回数に合わせて自動的にゲイン（出力）を補正します。
比較明合成	撮影した画像の中から、画素ごとに明るい方を選んで合成します。
比較暗合成	撮影した画像の中から、画素ごとに暗い方を選んで合成します。背景と被写体の輝度の差が大きい場合に有効です。 

連写時の露出を安定して撮影したい

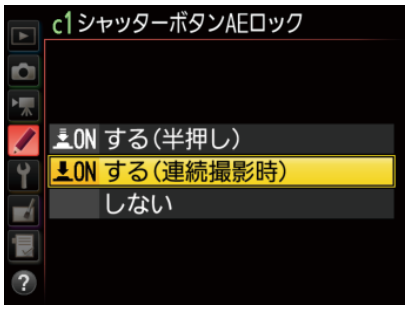
被写体の動きや明るさが変わる場面で、露出モードを **M** 以外に設定して連続撮影をするとコマごとに露出（明るさ）が変わってしまうことがあります。露出を安定させて撮影するには、次の機能を使用します。

カスタムメニュー b5［マルチパターン測光］：［顔認識しない］



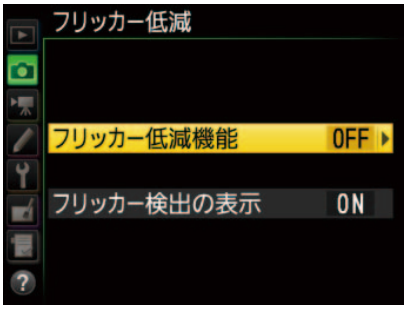
測光モードがマルチパターン測光の場合、カスタムメニュー b5［**マルチパターン測光**］を［**顔認識する**］に設定してカメラが顔を認識すると、顔を優先して測光を行います。ただし、人物の動きが激しいスポーツ撮影などでは常に顔が正面に向いているわけではありません。またゴーグルやヘルメットなどを装着すると顔認識がしにくく、露出が一定にならないことがあります。このような場合にマルチパターン測光で安定した露出を得るためには、［**顔認識しない**］にすることをおすすめします。

カスタムメニュー c1［シャッターボタン AE ロック］：［する（連続撮影時）］



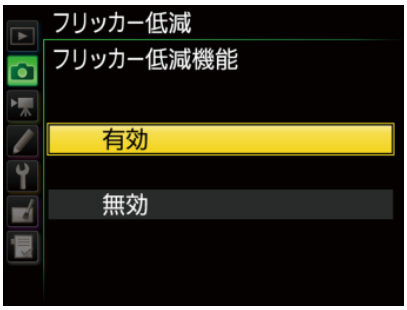
動いている被写体を連続撮影する場合、被写体や背景などの明るさの変化によって露出が一定にならないことがあります。カスタムメニュー c1［**シャッターボタン AE ロック**］を［**する（連続撮影時）**］に設定すると、シャッターボタンを半押し時には AE ロックは行わず、全押ししたときに（実際にシャッターが切れるタイミングで）AE ロックを行います。これにより、連続撮影時の露出を一定にすることができます。

フリッカー現象の影響を低減して撮影したい CHECK IT OUT

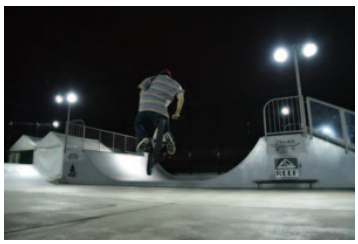


蛍光灯をはじめとする一部の人工照明下で撮影すると、照明の明滅による明るさのちらつき（フリッカー現象）によって画像の一部に露出ムラが生じたり、連続撮影時に露出や色みにばらつきが生じることがあります。フリッカー低減機能を使うと、フリッカーの周期を検知し、露出や色合いへの影響が少ないタイミングでシャッターがきれるように撮影のタイミングをずらします。

- フリッカー低減機能を使うには、静止画撮影メニュー［**フリッカー低減**］の［**フリッカー低減機能**］を［**有効**］にします。



［**有効**］



［**無効**］

- ［**フリッカー検出の表示**］を［**する**］に設定すると、フリッカーを検出しているときにシャッターボタンを半押しした場合、ファインダー内表示に FLC の文字が点灯します。フリッカー非検出時は、連続撮影可能コマ数が表示されます。

- 各設定時の効果と、ファインダー内 FLC 表示の関係は次の通りです。

設定		効果		シャッター半押し＋フリッカー検出時の FLC 表示
［フリッカー低減機能］	［フリッカー検出の表示］	フリッカー低減	レリーズのタイミング	
［**無効**］	［**する**］	しない	影響なし	点滅表示
	［**しない**］			表示なし
［**有効**］	［**する**］	する	遅れる可能性あり	点灯表示
	［**しない**］			表示なし

ライブビュー表示中および動画記録時のフリッカー低減については、動画撮影メニュー［**フリッカー低減**］で設定します。

静止画撮影メニュー［フリッカー低減］について

- フリッカー低減機能を使うと、光源によってシャッターのきれるタイミングが少し遅れることがあります。また、連続撮影時は撮影速度が遅くなったり、撮影間隔が一定ではなくなることがあります。
- 電源周波数が 50Hz の場合は 100Hz の点滅周期を、また電源周波数が 60Hz の場合は 120Hz の点滅周期を検出します。連続撮影中に光源の点滅周期が変化した場合、フリッカーの影響は低減できません。
- 背景が暗い場合や輝度が高い光源が含まれる場合など光源や撮影条件によっては、フリッカーが検出できなかったり、フリッカー低減の効果が得られないことがあります。
- イルミネーションなどの特殊な光源下では、フリッカー低減機能の効果が得られないことがあります。
- 増灯時を除くフラッシュ撮影では、フリッカー低減が機能します。

静止画撮影メニュー [フリッカー低減] の制限について

次の場合など、静止画撮影メニュー［**フリッカー低減**］が無効になります。

- レリーズモードを［**14 コマ / 秒（ミラーアップ)**］に設定した場合
- レリーズモードが **MUP**（ミラーアップ撮影）の場合
- 露出ディレーモードが有効の場合
- シャッタースピードが 1/100 秒より低速の場合や、**bulb**（バルブ）または **- -**（タイム）の場合

撮影音を抑えて撮影したい

舞台の撮影や、インタビュー時、動物を撮影するときなど、カメラの撮影音を抑えて撮影したいときは、静音撮影または無音撮影の機能を使うと便利です。

● 静音撮影と無音撮影の違い

静音撮影と無音撮影では、次のような違いがあります。

	静音撮影	無音撮影
シャッターボタン全押し時の撮影音	静か※1	無音
連続撮影	最高約 3 コマ / 秒	**S**：1 コマ／秒 **CL**：15 コマ／秒※2 **CH**：30 コマ／秒※2
選択可能な画像サイズと画質モード	全て	［**サイズ S**］※3、［**FINE ★**］のみ

※ 1 ライブビュー撮影時には、ミラーアップ音がないためより静かになります。

※ 2 最長 5 秒間の撮影が可能です。

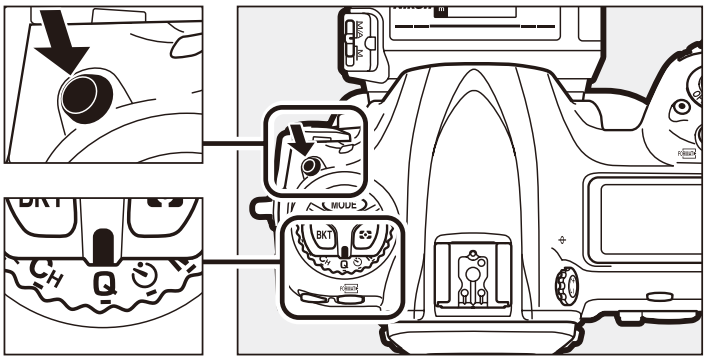
※ 3 画像サイズ（ピクセル）は、静止画撮影メニュー［**画像サイズ**］の設定にかかわらず、各撮像範囲で次のようになります。

- **FX（36 × 24）1.0 ×**：2784 × 1856 ピクセル
- **1.2 ×（30 × 20）1.2 ×**：2320 × 1544 ピクセル
- **DX（24 × 16）1.5 ×**：1824 × 1216 ピクセル
- **5:4（30 × 24）**：2320 × 1856 ピクセル

● 静音撮影

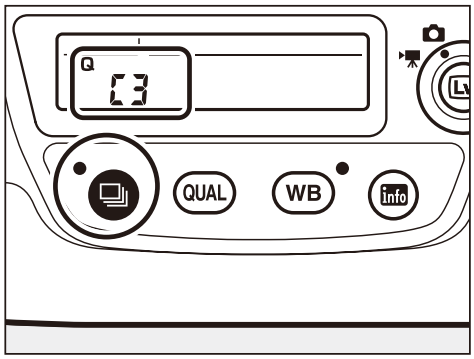
撮影時のミラーダウン音が 1 コマ撮影に比べて静かになります。シャッターボタンを全押ししている間はミラーダウンせず、シャッターボタンを半押し状態に戻すとミラーダウンするため、ミラーダウン音のタイミングを遅らせることができます。

- レリーズモードダイヤルロックボタンを押しながら、レリーズモードダイヤルを回して **Q**（静音撮影）を選んでください。



静音連続撮影に設定する

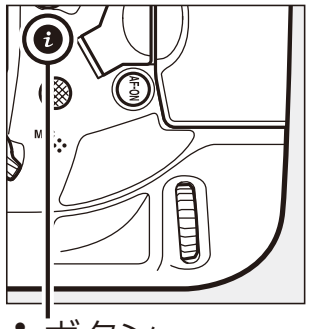
ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、静音撮影（1 コマ撮影）と静音連続撮影が切り換えられます。静音連続撮影は約 3 コマ / 秒で連続撮影できます。



● 無音撮影 CHECK IT OUT

ライブビュー撮影時にシャッターを開いたまま撮影するため、撮影音を出さずに静かに撮影できます。

- ライブビュー撮影時に *i* ボタンを押して、［**無音撮影**］を［**する**］に設定してください。
- 静止画撮影メニューの［**無音撮影（静止画ライブビュー）**］でも設定できます。



i ボタン

無音撮影では、静止画撮影メニュー［**画質モード**］の設定にかかわらず、画質モードは常に［**FINE ★**］の JPEG になります。画像サイズ（FX 時）は最大約 5MB になります。

● 動画から静止画を作成する

動画で撮影を行い、動画のフレームを静止画として切り出せば、撮影時には撮影音を出さずにすみます。

撮影した動画から静止画を作成する

［**選択フレームの保存**］を使用すると、選択した動画の 1 フレームを切り出して、JPEG 画像として保存します。

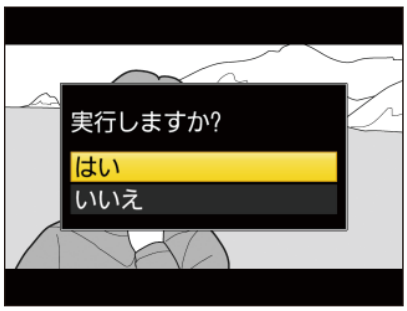
1 動画を再生して、保存したい位置で動画を一時停止する

- ⊛ を押すと一時停止します。

2 *i* または ⓞⓚ ボタンを押して［選択フレームの保存］を選んで ⊛ を押す

3 保存したいフレームを選んで ⊛ を押し、［はい］を選んで ⓞⓚ ボタンを押す

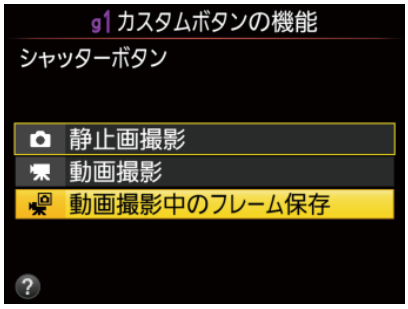
- JPEG の画像として保存します。



［選択フレームの保存］で作成した画像について

- 画質モード［**FINE ★**］の JPEG 画像を作成します。
- 画像編集はできません。
- 再生時の画像情報で表示されない項目があります。

動画記録中に静止画を作成する

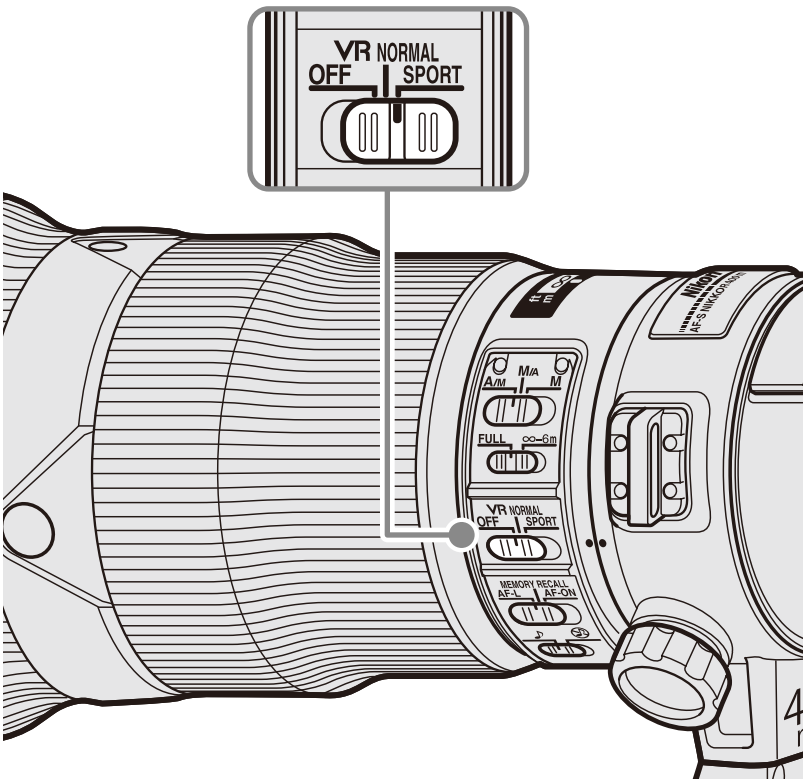


初期設定では動画記録中にシャッターボタンを全押しすると、静止画を撮影して動画記録を終了します。カスタムメニュー g1［**カスタムボタンの機能**］で［**シャッターボタン**］に［**動画撮影中のフレーム保存**］を割り当てておくと、動画記録中にシャッターボタンを全押ししても、動画記録を継続したまま静止画を撮影できます。撮影音は無音です。

- 静止画の画像サイズ（ピクセル）は動画撮影メニュー［**画像サイズ / フレームレート**］で設定した画像サイズと同じサイズになります。画質モードは［**FINE ★**］になります。
- レリーズモードに関係なく、シャッターボタンを全押しするたびに 1 コマずつ撮影します。
- 動画撮影中に記録可能な静止画は最大 50 コマです。

レンズの VR の SPORT モードについて詳しく知りたい

一部のレンズには、VR モードに **SPORT** モードが搭載されています。このカメラは、これまでのカメラよりも連続撮影時のファインダー像の見え方が安定しているため、レンズの VR の **SPORT** モードと組み合わせて使用することにより、高速連続撮影中の被写体の追いやすさが更に向上します。



SPORT モードが搭載されているレンズ

- AF-S NIKKOR 300mm f/4E PF ED VR
- AF-S NIKKOR 400mm f/2.8E FL ED VR
- AF-S NIKKOR 500mm f/4E FL ED VR
- AF-S NIKKOR 600mm f/4E FL ED VR
- AF-S NIKKOR 200–500mm f/5.6E ED VR

※ 2016 年 3 月現在

● SPORT モードの特長

- 動きの変化が激しい被写体を撮影するときに不要なブレのみを除去し、自然なファインダー像で撮影できます。
- 手持ち撮影で、一脚を使っているかのような安定したファインダー像で撮影できます。
- ファインダー像が安定しているため、高速連続撮影時の被写体を追いやすくなります。
- 流し撮り時にも被写体を追いやすくなっています。
- このカメラとの組み合わせでは、連続撮影速度が低下したりレリーズタイムラグが長くなることはありません。

SPORT モードで撮影した場合

自然で安定したファインダー像を実現します。

NORMAL モードで撮影した場合

手ブレを強く補正するため、レンズを動かしたときにファインダー像が不自然になる場合があります。

● SPORT モードと NOMAL モードの使い分け

	SPORT	NORMAL
適している被写体	動体	静止体
動体撮影時のファインダー像	自然	不自然
連写時の違和感	なし	あり

SPORT モードは、動体撮影を行うスポーツ、航空機、野鳥などのシーンにおいて、ファインダー像の安定性と手ブレ補正効果のバランスを実現した機能です。風景や静止画被写体の撮影などで、より強い手ブレ補正効果を必要とする場合には **NORMAL** モードのご利用をおすすめします。

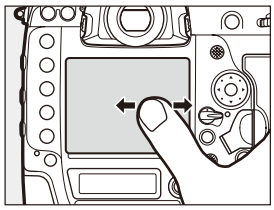
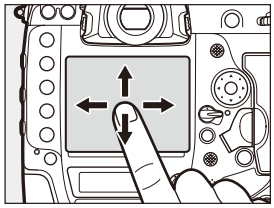
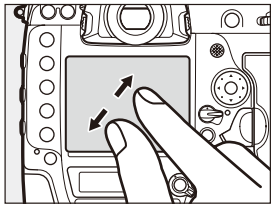
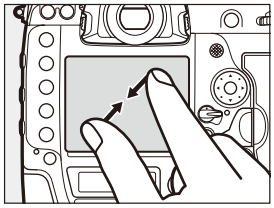
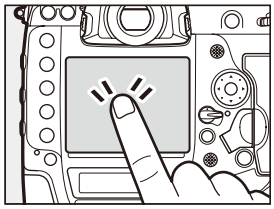
再生編

必要な画像を素早く探したい

このカメラの画像モニターは、タッチパネルを採用しており、従来のマルチセレクターやボタン操作などによる画像切り換えや拡大操作に加え、再生時に指で画面をフリックして画像を切り換えたり、画面をダブルタップして画像を拡大することができます。これによって、画像を探す、ピントを確認するという一連の行為を素早く行うことができます。また、プロテクトアイコンやレーティングを設定することで、必要な画像に目印をつけることができます。

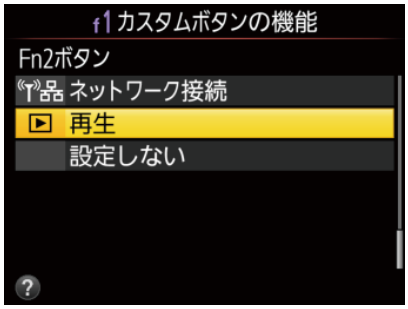
タッチパネルの操作方法

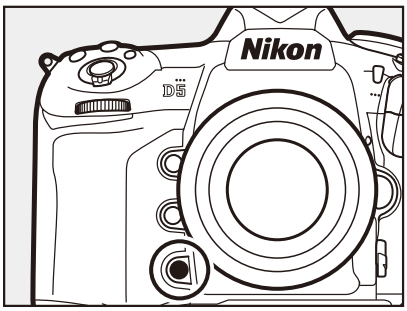
タッチパネルの操作方法は次の通りです。

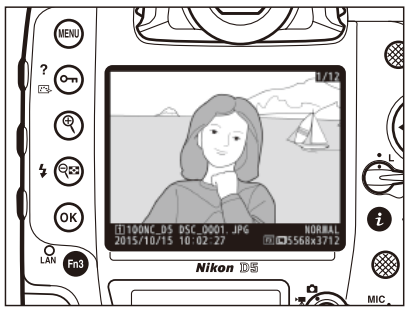
フリック タッチパネルを指で左右に払う操作です。	
スライド タッチパネルに触れたまま指を上下左右に動かす操作です。	
広げる / つまむ タッチパネルに 2 本の指を触れたまま、指の間隔を広げたり、つまむように狭めたりする操作です。	 
ダブルタップ タッチパネルを素早く 2 回タップします。	

● 画像を右手で素早く表示させるには

カスタムメニュー f1［**カスタムボタンの機能**］（P.6）で［**Fn2 ボタン**］に［**再生**］を割り当てておくと、左手の撮影姿勢を保持したまま右手の操作のみで画像を再生できます。



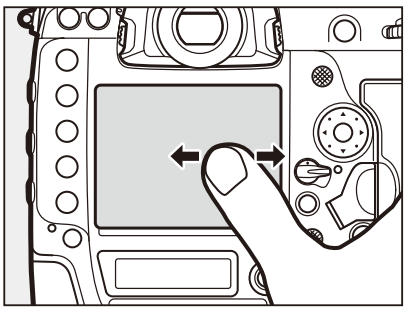




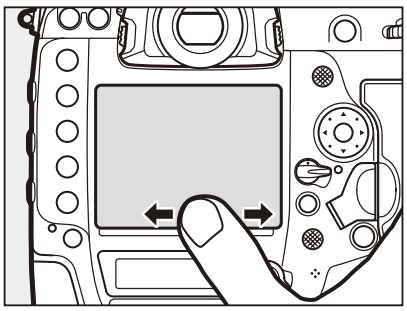
- **Pv** ボタン、**Fn1** ボタン、縦位置 **Fn** ボタン、サブセレクター中央にも機能を割り当てることができます。

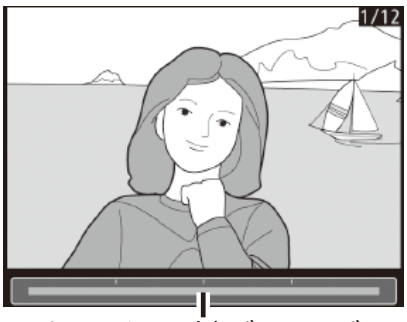
● 画像を素早く探すには CHECK IT OUT

- 画像モニターを左右にフリックすると、前後に画像を送ることができます。



- 1 コマ表示時に画面下部をタッチすると、フレームアドバンスバーが表示されます。フレームアドバンスバーに触れたまま指を左右にスライドすると、画像を高速で送ることができます。





フレームアドバンスバー

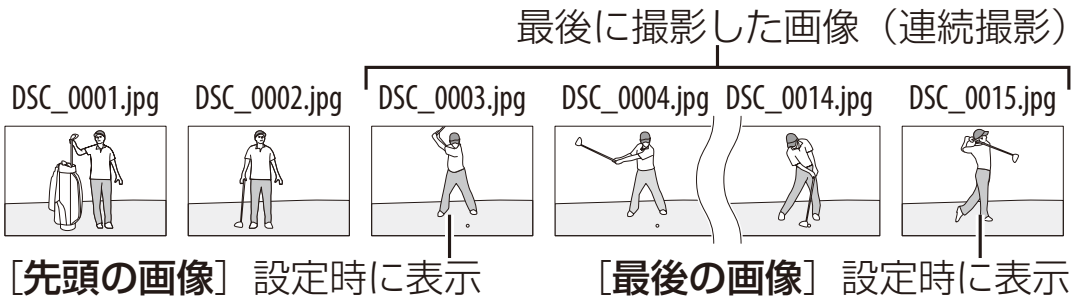
- マルチセレクターの ◀▶ を押して前後に画像を送ります。◀▶ を長押しすると、画像を高速で送ることができます。

コマンドダイヤルでコマ送りするには

- カスタムメニュー f4［**コマンドダイヤルの設定**］の［**再生 / メニュー画面で使用**］で［**する**］を選ぶと、1 コマ表示時にコマンドダイヤルを回してコマ送りを行えます。
- f4［**コマンドダイヤルの設定**］の［**サブコマンドダイヤルで画像送り**］でサブコマンドダイヤルを回したときのコマ送りするコマ数や、コマ送りする画像の種類などを設定できます。

再生メニュー［連続撮影後の再生画像］

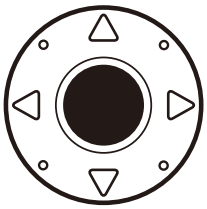
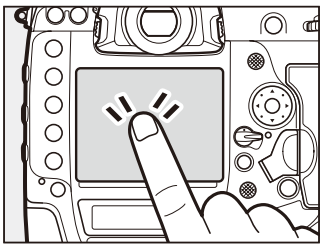
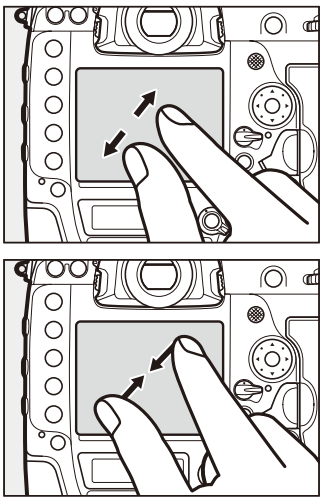
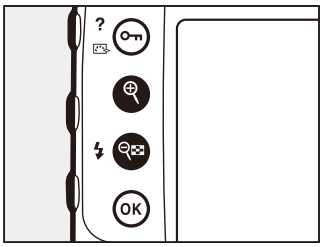
最後に撮影した画像が連続撮影の場合、再生メニューの［**連続撮影後の再生画像**］で画像を再生したときに連続撮影した最初のコマまたは最後のコマのどちらを表示するかを設定できます。



- 再生メニュー［**撮影直後の画像確認**］が［**しない**］に設定されている場合のみ有効です。

● ピントを素早く確認するには

次の操作を行うと画像が拡大表示され、ピントが確認しやすくなります。

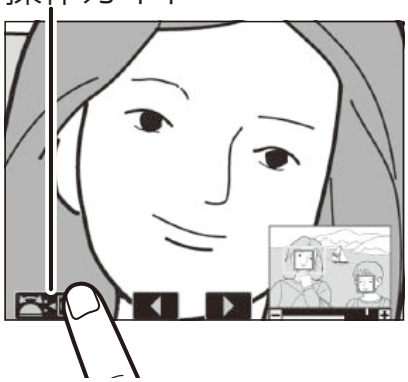
マルチセレクターの**中央**ボタンを押す		撮影時のフォーカスポイントを中心にして撮影画像を拡大できます。もう一度**中央**ボタンを押すと元の表示に戻ります。
画面をダブルタップする		タッチした場所を中心に拡大表示されます。もう一度画面を素早く 2 回タッチすると元の表示に戻ります。
画面を広げる・つまむ動作をする		画像モニターで広げる操作をすると拡大表示し、つまむ操作をすると拡大率が下がります。1 コマ表示中につまむ操作をすると、サムネイル表示されます。
⊕/⊖▦（⚡）ボタンを押す		⊕ ボタンを押すごとに拡大率が上がり、⊖▦（⚡）ボタンを押すごとに拡大率が下がります。

- カスタムメニュー f2［**中央ボタンの機能**］>［**再生モード**］>［**拡大画面との切り換え**］を選んで ⊕ を押すと、画像モニターをダブルタップしたときとマルチセレクターの**中央**ボタンを押したときの拡大率を［**低倍率（50%）**］、［**等倍（100%）**］、［**高倍率（200%）**］から選べます。
- 拡大表示中にメインコマンドダイヤルを回すと、そのままの拡大率と表示範囲で、前後の静止画を表示します。画面下部に表示される ◀ ▶ をタッチしても画像を切り換えられます。

表示する顔を切り換える

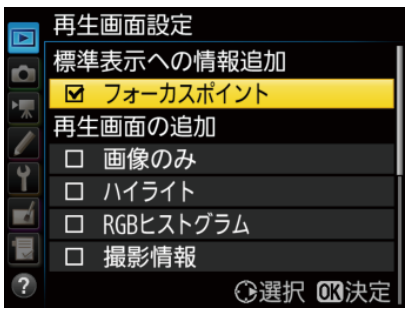
カメラが人物の顔を認識した場合に拡大表示すると、画面右下のナビゲーションウィンドウに白枠が表示されます。操作ガイドをタッチするかサブコマンドダイヤルを回すと、認識した顔に順次移動します。

操作ガイド



フォーカスポイントを表示させる

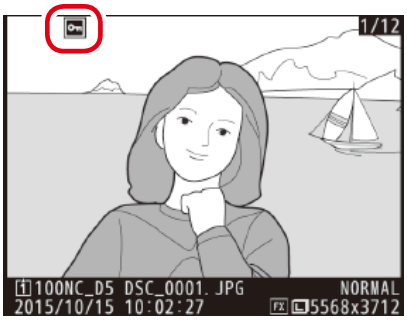
再生メニュー［**再生画面設定**］の［**フォーカスポイント**］のチェックボックスをオン ☑ にすると、撮影時に選んだフォーカスポイントまたはピント合わせに使用したフォーカスポイントを再生画像に表示できます。



● 必要な画像に印をつけるには

プロテクトアイコンをつける

画像の再生中に O-π（/?）ボタンを押すと、プロテクトアイコン O-π が表示されます。カスタムメニュー f4［**コマンドダイヤルの設定**］>［**サブコマンドダイヤルで画像送り**］>［**プロテクト**］に設定すると、サブコマンドダイヤルを回したときにプロテクトを付けた画像だけをコマ送りして表示します。



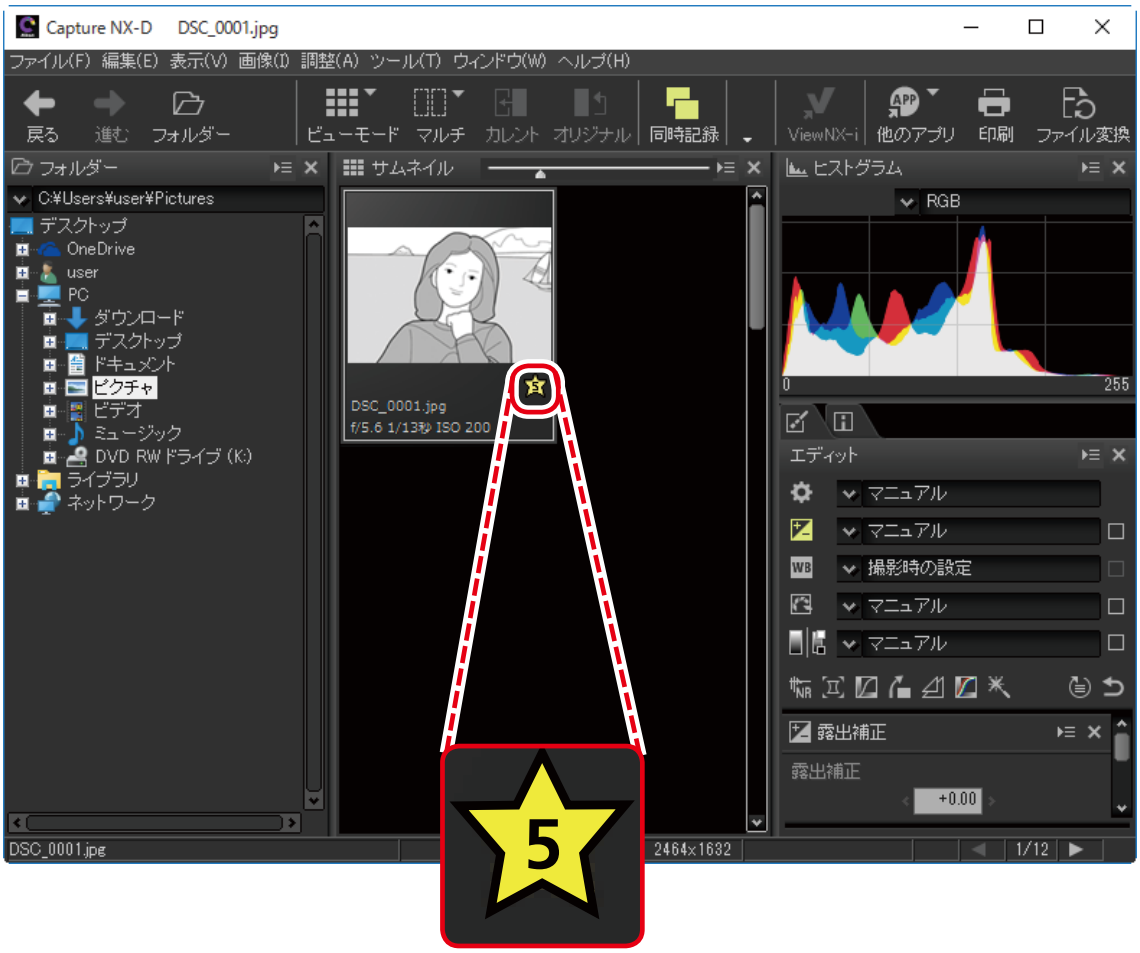
レーティングを設定する

画像に再生中に *i* ボタンを押して、*i* メニューから［**レーティング**］を選択すると、画像にレーティングを付けることができます。レーティングは★★★★★～★、星なし、🗑（削除候補）から選べます。プロテクトした画像にはレーティングを設定できません。

Fn3 ボタンを押してレーティングを設定する

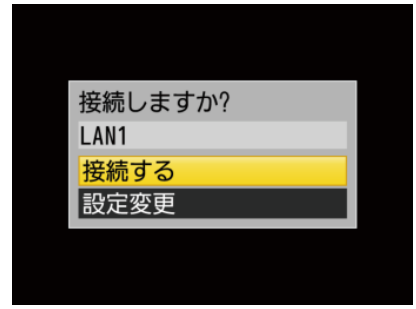
カスタムメニュー f1［**カスタムボタンの機能**］で［**Fn3 ボタン**］を［**レーティング**］に設定している場合、再生画面で **Fn3** ボタンを押しながら ◀ または ▶ を押してレーティングを設定できます。

画像に設定したレーティングは、パソコンに転送して ViewNX-i や Capture NX-D などで確認できます。レーティングによるソートも可能です。



ネットワーク編

ネットワーク接続を素早く行いたい

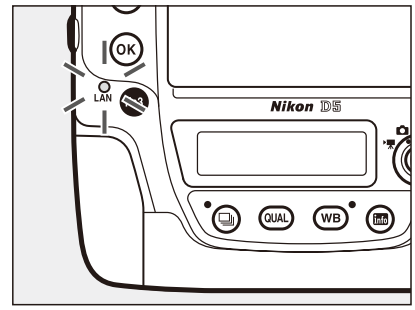


既にネットワークの設定が完了している場合、カスタムメニュー f1［**カスタムボタンの機能**］（P.6）で **Fn3** ボタンに［**ネットワーク接続**］を割り当てておくと、割り当てたボタンを押してネットワーク接続の確認画面をダイレクトに表示させることができます。ネットワーク接続のオン / オフの切り換えを短時間で行えます。

- ［**ネットワーク接続**］は **Pv**、**Fn1**、または **Fn2** ボタンにも割り当てられます。

ネットワークインジケーターについて

このカメラは、ネットワーク画面を表示させなくても背面にあるネットワークインジケーターランプの点灯状態によってネットワークの接続状態が確認できます。

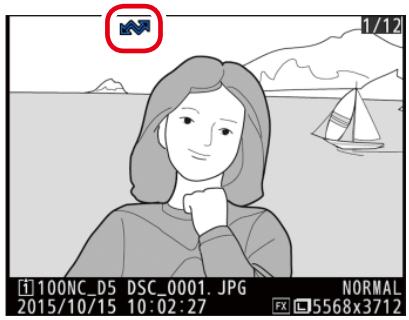


ネットワークインジケーター	状態
○（緑点灯）	パソコンとの接続を待っています。
☼（緑点滅）	パソコンと接続しています。
☼（橙点滅）	パソコンとの通信エラーです。
●（消灯）	• 通信機能が［無効］になっています。 • イーサネットケーブルが接続されていません。

送信できている画像なのかを パソコン上で確認したい

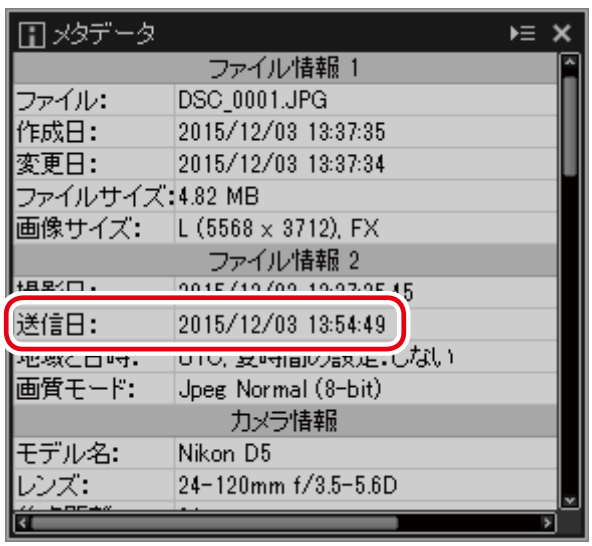
有線 LAN やワイヤレストランスミッター WT-6 / WT-5 を使用して FTP サーバーに画像を送信した場合、カメラの画像モニター上では画像送信マークの色によって送信済みの画像かどうかを判別することができますが、パソコン上では送信マークは表示されないため判別ができません。

送信済みマーク（青色）



セットアップメニュー［**ネットワーク**］>［**オプション**］>［**送信記録の保存**］を［**する**］に設定すると、画像が送信された日時をメモリーカード内の画像に記録します。

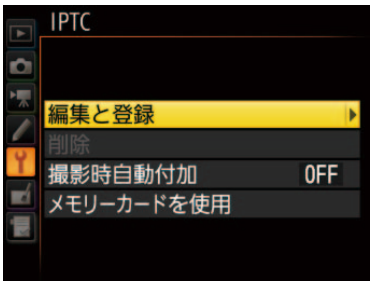
上記の設定を行ったカメラから送信した画像を、ViewNX-i、Capture NX-D を使用してパソコンで開くと、ファイル情報に送信日が表示されます。その画像をカメラで送信したかどうかを確認するときに便利です。



- 送信日時の情報は画像送信後に画像に記録されるため、受信者側では送信日時の情報は確認できません。
- ViewNX-i、Capture NX-D は最新版のものをお使いください。

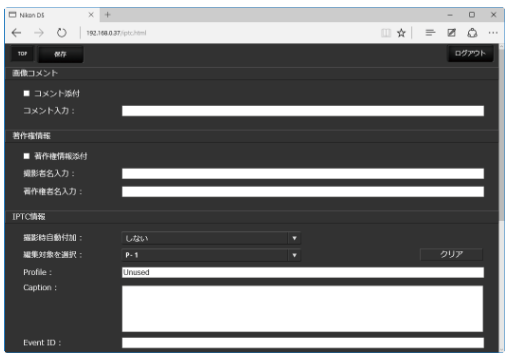
画像に IPTC 情報、画像コメント、著作権情報を添付したい

このカメラでは、カメラのセットアップメニューの［**IPTC**］、［**画像コメント**］、［**著作権情報**］を使ってそれぞれの情報を画像に添付できます。



- 文字や数字などはタッチ操作で入力ができます。

● HTTP サーバーモードの「文字情報編集」について



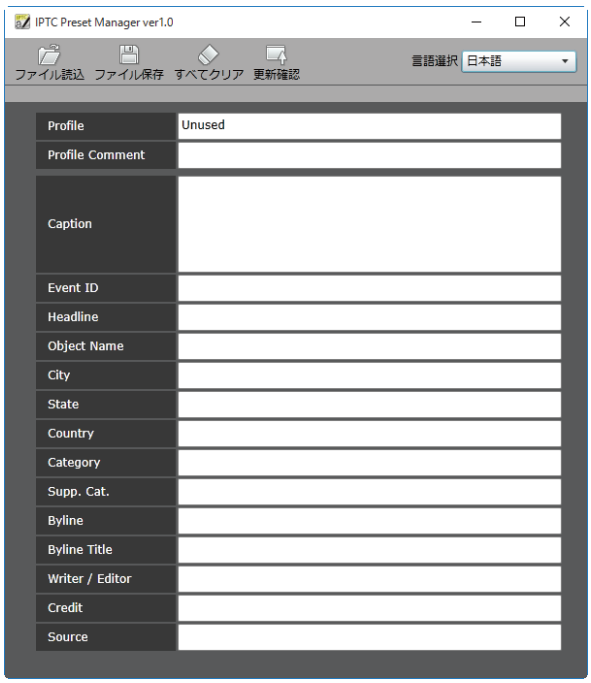
このカメラのネットワーク機能である HTTP サーバーモードを使用すると、「文字情報編集」でパソコンまたは iOS、Android 端末から、IPTC プリセット、画像コメント、著作権情報の入力ができます。なお、IPTC プリセットでは、半角英数文字以外の入力も可能となります（一部の項目を除く）。その場合、カメラでは半角英数字のみ表示されるため、その他の文字はカメラでは伏せ文字で表示されますが、パソコンでは正しく表示されます。

● IPTC プリセットについて

カメラに登録した IPTC プリセットは、再生時に Ⓚ ボタンを押しながらマルチセレクターの ⊕ を押すと一覧表示されます。添付する IPTC プリセットを選んで Ⓚ ボタンを押すと、表示中の静止画に添付されます。

IPTC プリセットをパソコンで作成する

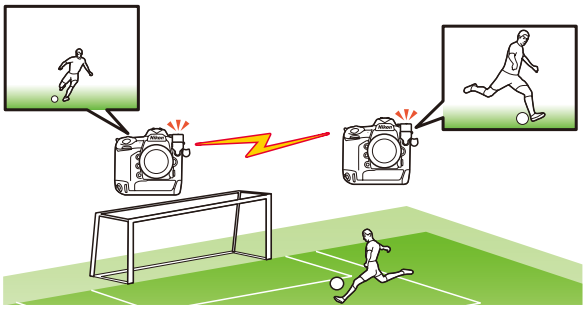
IPTC プリセット登録用ソフトウェア IPTC Preset Manager を使うと、パソコンで IPTC プリセットを作成して、メモリーカードに保存できます。カメラでは半角英数字のみ表示されるため、その他の文字はカメラでは伏せ文字で表示されますが、IPTC プリセットを添付した画像をパソコンで表示すると、正しく表示されます。IPTC Preset Manager は、下記ホームページからダウンロードしてインストールできます。IPTC Preset Manager の使用方法は、IPTC Preset Manager のヘルプを参照してください。



http://downloadcenter.nikonimglib.com/

アクセサリー編

複数のカメラのシャッターをリモートできりたい（連動レリーズ機能）

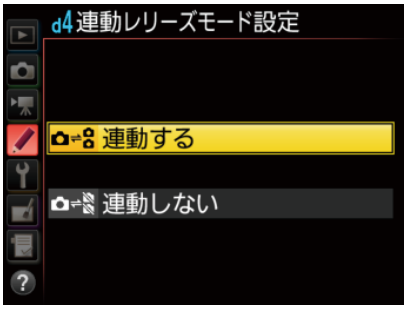


このカメラでは、別売アクセサリーのワイヤレストランスミッター WT-6、WT-5、またはワイヤレスリモートコントローラー WR-1、WR-R10 を使用することで、撮影しているカメラ（マスターカメラ）から離れたところに置いたカメラ（リモートカメラ）のシャッターをきることができます。

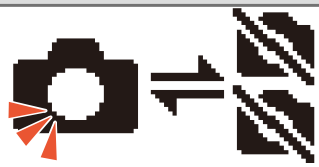
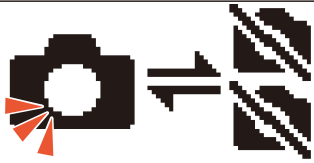
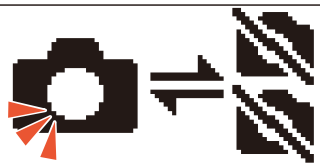
- マスターカメラ、リモートカメラの両方にワイヤレストランスミッターまたはワイヤレスリモートコントローラーを同じ組み合わせで取り付ける必要があります。
- このカメラに WR-R10 を装着するには、WR 用変換アダプター WR-A10 が必要です。
- ワイヤレスリモートコントローラーおよびワイヤレストランスミッターの接続設定方法については、それぞれの使用説明書をご覧ください。

● 連動レリーズモード設定について

カスタムメニュー d4［**連動レリーズモード設定**］で、マスターカメラのシャッターをきったときにリモートカメラのシャッターを連動してきるかどうかを設定できます。



- カスタムメニュー f1［**カスタムボタンの機能**］（P.6）で **Pv**、**Fn1**、**Fn2**、サブセレクター中央、またはレンズのフォーカス作動ボタンに［**連動レリーズ切り換え**］を割り当てられます。設定できる内容は、d4［**連動レリーズモード設定**］により異なります。
- d4［**連動レリーズモード設定**］と f1［**連動レリーズ切り換え**］の設定を組み合わせることで、シーンに合ったリモート撮影が可能です。

設定		シャッターがきれるカメラ	
d4［**連動レリーズモード設定**］	f1［**連動レリーズ切り換え**］	シャッターボタンを押したとき	カスタムボタン※を押しながらシャッターボタンを押したとき
［**連動する**］	［**マスターカメラのみ**］	マスター　リモート	 マスター　リモート
	［**リモートカメラのみレリーズ**］	マスター　リモート	マスター　リモート
［**連動しない**］	［**マスターとリモートが連動**］	 マスター　リモート	マスター　リモート
	［**リモートカメラのみレリーズ**］	 マスター　リモート	マスター　リモート

※ f1［**連動レリーズ切り換え**］を割り当てたボタン

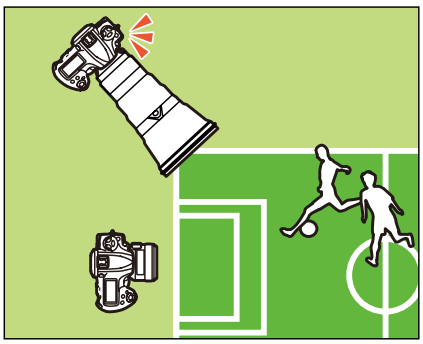
使用例：サッカーでシュートシーンのみマスターカメラとリモートカメラの両方で撮影したい

通常はマスターカメラでのみ撮影を行い、シュートシーンのみゴール裏に設置したリモートカメラで撮影したい場合は次のように設定します。

d4［連動レリーズモード設定］	［**連動しない**］
f1［カスタムボタンの機能］>［連動レリーズ切り換え］	［**マスターとリモートが連動**］

■ シャッターボタンのみを押した場合

マスターカメラのみ撮影し、リモートカメラは撮影しません。



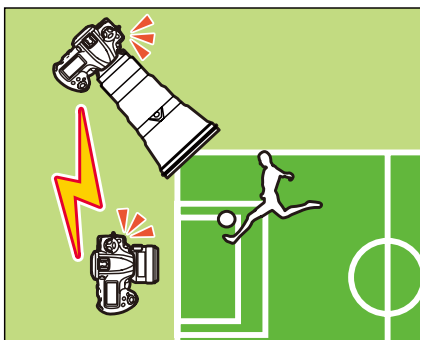
マスターカメラ

NO IMAGE

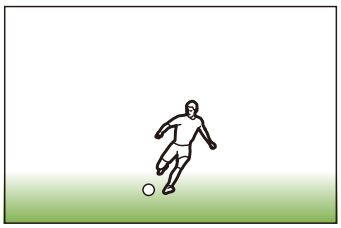
リモートカメラ

■ シャッターボタンと［連動レリーズ切り換え］を割り当てたボタンを押した場合

マスターカメラとリモートカメラ両方で撮影します。

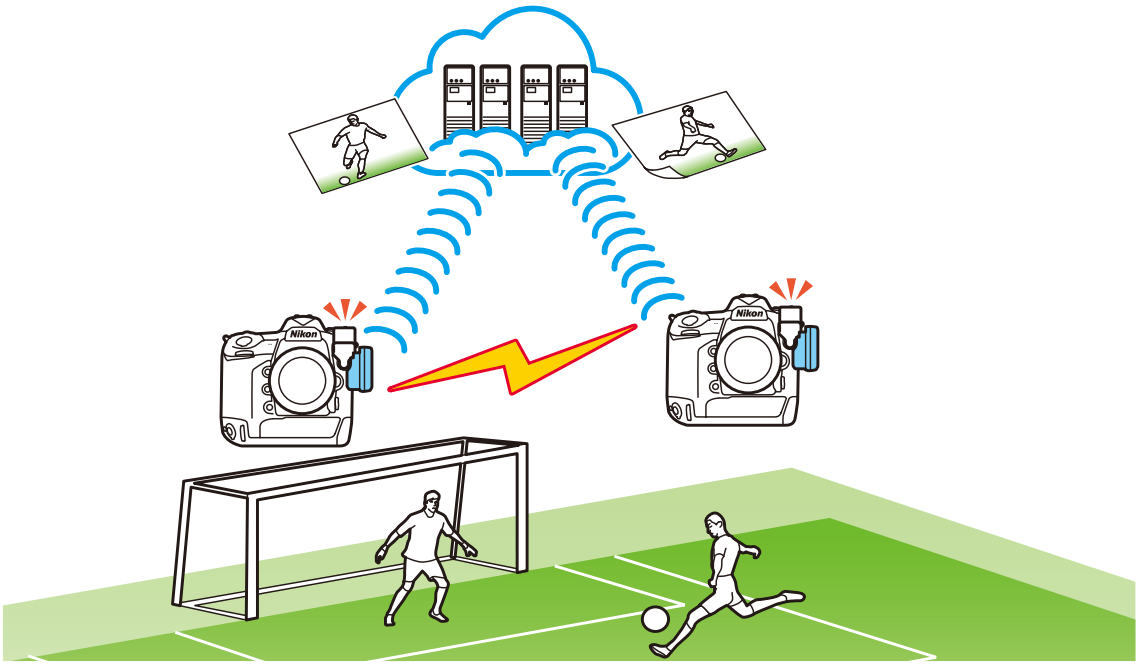


マスターカメラ



リモートカメラ

● 連動レリーズで撮影した画像の送信について



- WT-6/WT-5 を画像送信モードに設定し、WR-1/WR-R10 で連動レリーズを行うことで、マスターおよびリモートカメラで撮影した画像をパソコン、または FTP サーバーに転送できます。
- カメラに内蔵されている有線 LAN を使用して画像を転送することもできます。
- 動作モードは、[**FTP 画像送信モード**] または [**PC 画像送信モード**] に設定する必要があります。
- セットアップメニュー [**ネットワーク**] > [**オプション**] > [**撮影後自動送信**] を [**する**] に設定すると、撮影と同時に画像を自動送信します。カメラと無線 LAN または有線 LAN を組み合わせて使用する場合は、必ず [**する**] に設定してください。

連動レリーズを行う場合のご注意

- 天候や電波状況により、通信距離が短くなる場合があります。
- リモートカメラを地面近くに設置すると、電波が届きにくくなります。
- 複数の電波が飛び交っている場所や人ごみの中では、電波が届きにくい場合があります。
- ワイヤレスリモートコントローラーをお使いいただく場合は、WR-R10 ならびに WR-1 のファームウェアを最新版にバージョンアップしてください。ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページでご確認ください。

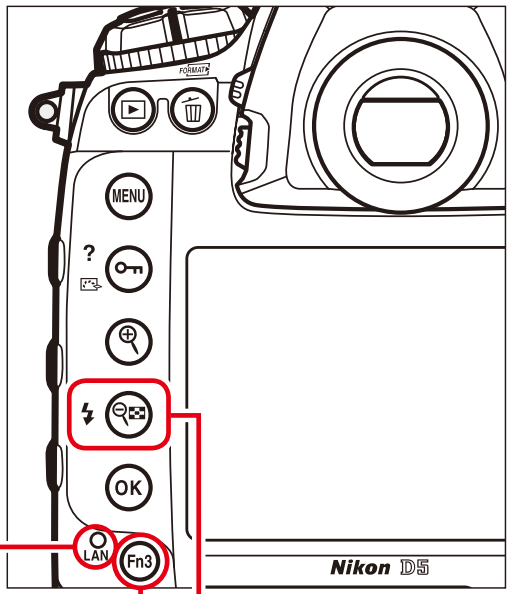
付録

D5 と D4S の ボタンや表示などの違いについて

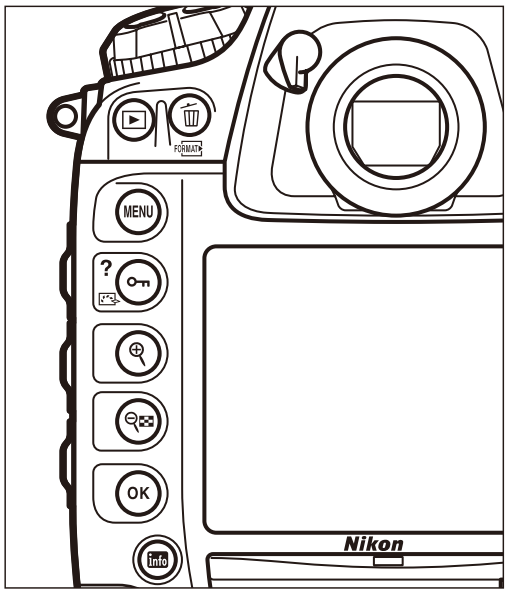
D5 は、D4S と比べてボタンやダイヤルなどに次のような違いがあります。

● 背面左側

D5



D4S



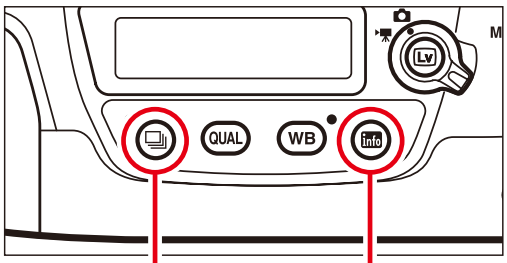
ボタンが （⚡）ボタンに変更になりました。

Fn3 ボタンに変更になりました。 Info ボタンは背面下部に移動しています。

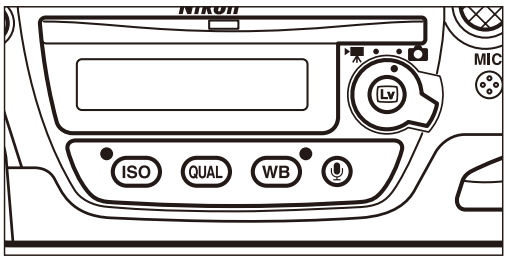
ネットワークインジケーターが新しく追加されました。

● 背面下部

D5



D4S



🎙 ボタンが Info ボタンに変更されました。

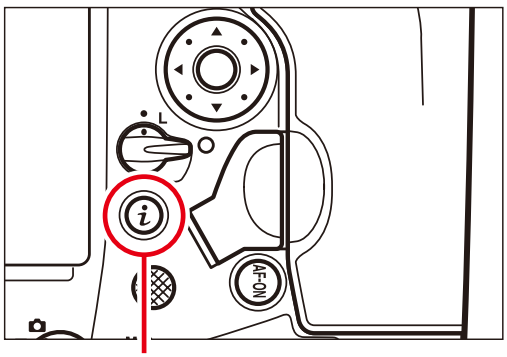
⧉（レリーズ）ボタンに変更になりました。**ISO** ボタンは上面右側に移動しています。

🎙 ボタンがわりに Fn3 ボタンを使用する

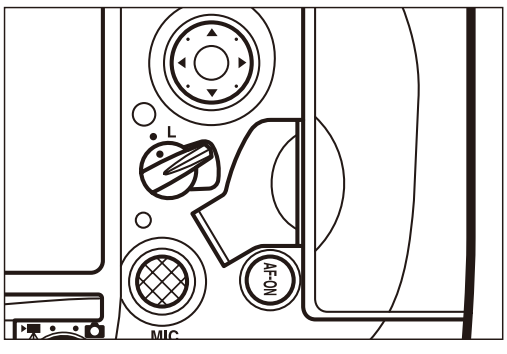
カスタムメニュー f1［**カスタムボタンの機能**］で［**Fn3 ボタン**］に［**音声メモ**］を割り当てておくと、D4S の 🎙 ボタンと同様にボタンを押して音声メモを録音できます。

● 背面右側

D5



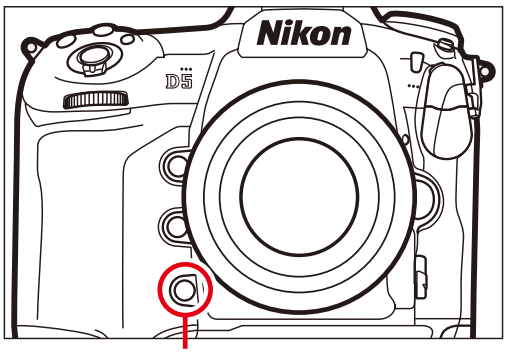
D4S



i ボタンが新しく追加されました。

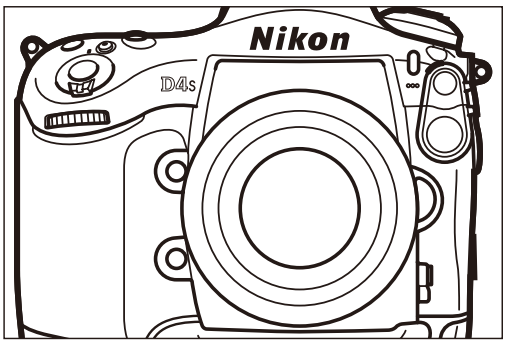
● 正面

D5



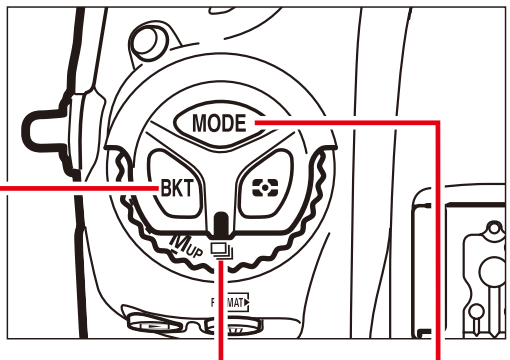
縦位置撮影時にも使いやすい **Fn2** ボタンが新たに追加されました。

D4S

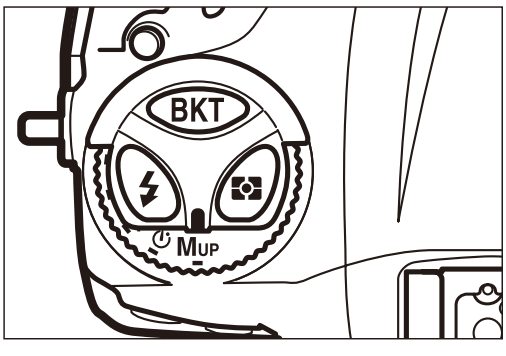


● 上面左側

D5



D4S



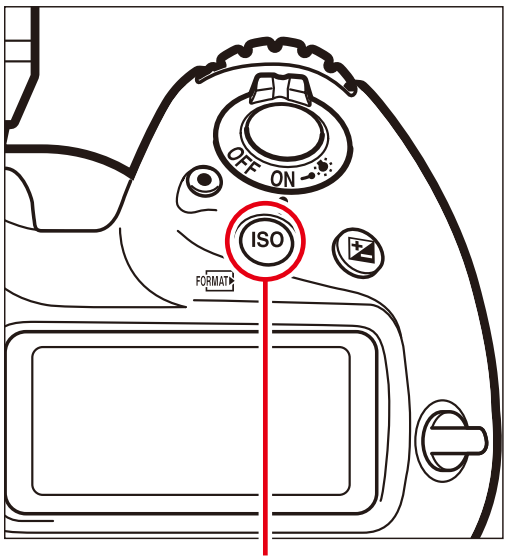
BKT ボタンが **MODE** ボタンに変更になりました。

レリーズモードダイヤルに ⧉（クイック設定ポジション）が追加されました。

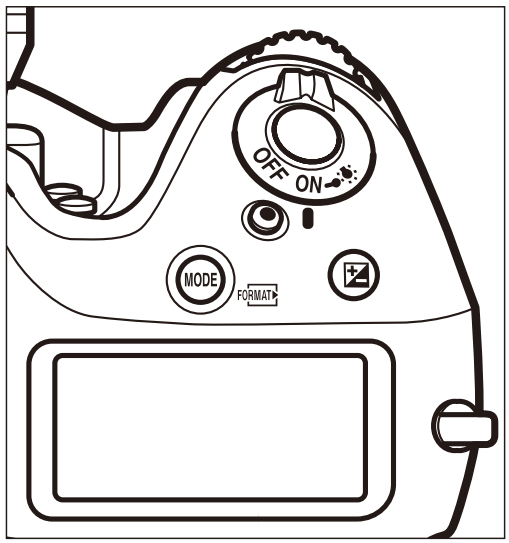
BKT ボタンの位置が変更になりました。ϟ ボタンは背面左側の ⊖⊞（ϟ）ボタンに変更になりました。

● 上面右側

D5



D4S



ISO ボタンに変更になりました。**MODE** ボタンは上面左側に移動しています。

動画撮影ボタンを MODE ボタンとして使用する

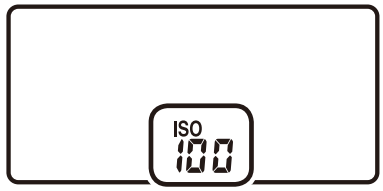
カスタムメニュー f1［**カスタムボタンの機能**］で［**動画撮影ボタン +**］に［**露出モード**］を割り当てておくと、D4S のように右手だけの操作で露出モードを変更できます。

● 表示パネルの ISO 感度と撮影コマ数表示

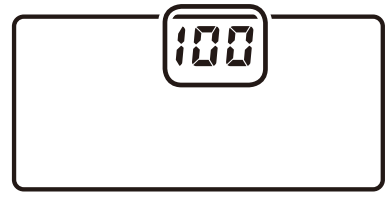
ISO 感度

D4S では ISO 感度は上面表示パネルと背面表示パネル、ファインダー内に表示されていましたが、D5 では上面表示パネルとファインダー内のみに表示されます。

D5：上面表示パネル



D4S：上面表示パネル



D4S：背面表示パネル

撮影コマ数

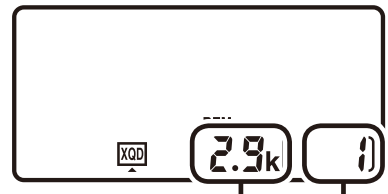
上面表示パネルの撮影コマ数と記録可能コマ数の位置が入れ替わっています。また、D5 では撮影コマ数は電源 OFF 時のみ表示されます。

D5

撮影コマ数

記録可能コマ数

D4S



記録可能コマ数

撮影コマ数